

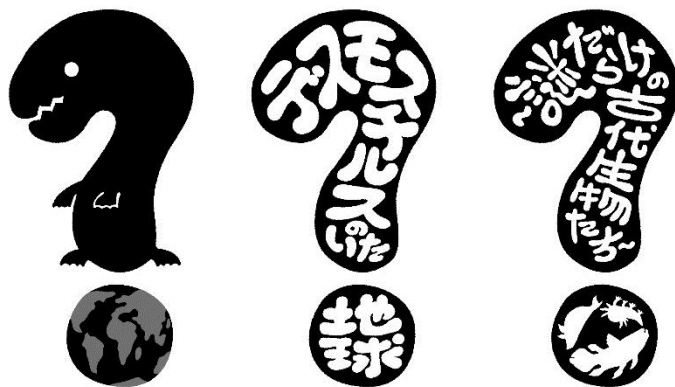


平成 28 年 7 月 6 日
株式会社海遊館 広報チーム
〒552-0022 大阪市港区海岸通 1
TEL06-6576-5529 FAX06-6576-5551
<http://www.kaiyukan.com/>
(担当：村上、西村、田中)

企画展「デスモスチルスのいた地球～謎だらけの古代生物たち～」

2つのオープニングイベント開催！参加者を募集します

大阪市港区の海遊館は、平成 28 年 7 月 15 日（金）から平成 29 年春まで、「生き物たちの“謎だらけ”の進化」をテーマにした大型企画展「デスモスチルスのいた地球 ～謎だらけの古代生物たち～」を海遊館エントランスビル 4 階にて開催します（平成 28 年 6 月 17 日情報提供済）。企画展の開催を記念して、平成 28 年 7 月 18 日（月・祝）に 2 つのオープニングイベントを開催します。1 つ目は飼育員と古代生物の研究者である 3 名の先生が企画展の内容を解説する「デスモスチルスなプレミアムガイドツアー」、2 つ目は、同じく 3 名の先生に加え、恐竜の研究者である真鍋先生をゲストに迎えた講演会「教えて！古代生物のナゾ」です。



1. 「デスモスチルスなプレミアムガイドツアー」

謎だらけの古代生物たちが登場する企画展を、古代生物の研究者と海遊館の飼育員、そしてマリンメイトが開館前にご案内します。企画展の内容を深掘りしながら楽しめる贅沢なツアーです。

日 程：平成 28 年 7 月 18 日（月・祝） 9:00～9:45

受付開始：平成 28 年 7 月 11 日（月） 10:00

対 象：小学生以上

定 員：30 名

料 金：1,000 円（別途入館料が必要）

応募方法：先着順。右記まで電話にて申込。海遊館インフォメーション 06-6576-5501

2. 講演会「教えて！古代生物のナゾ」

企画展を監修していただいた古代生物の研究者 3 名をお招きし、小学生でもわかるようにナゾだらけの古代生物のおもしろさと、先生方が古代生物に夢中になったエピソードをご紹介します。また、企画展に登場するデスマスチルスなどの古代生物の名前や特徴を覚えられるような楽しいゲーム大会も行います。さらに、今秋に海遊館となりの大阪文化館・天保山で開催される「恐竜博 2016」の監修をされている国立科学博物館の真鍋先生にもご参加いただき、恐竜をテーマにお話いただきます。

日 程：平成 28 年 7 月 18 日（月・祝） 10:15～12:30

対 象：特になし ※どなたでも参加できますが、主に小学校高学年以上を対象にした内容となります

定 員：200 名

料 金：無料

応募方法：先着順。下記の通りメールにてお申し込みください。

メールタイトル：「教えて古代生物 参加」

本文：1. 参加希望者全員の氏名、年齢または学年

2. 代表者の居住地（大阪市〇〇区、和歌山市、など）

3. 参加希望者数

応募先：kodai@kaiyukan.com

応募締切：先着順。定員になり次第終了。

そ の 他：・当選の方には、参加証をメールにてお送りします。当日、受付で参加証をご呈示ください。

・途中参加、途中退席が可能です。

・収集した個人情報は、本イベントの運営のみに使用いたします

内 容：

- ・受付開始（9:45）
- ・開会（10:15）
- ・開会の挨拶 海遊館館長 西田清徳
＜講演 各約 20 分＞
- ・大阪市立自然史博物館 林昭次博士
- ・沼田町化石館 田中嘉寛博士
- ・札幌市博物館活動センター 古沢仁博士
- ・国立科学博物館 真鍋真博士
＜全員参加イベント＞
- ・先生に質問コーナー
- ・プレゼント有り！古代生物ゲーム大会
- ・閉会の挨拶（12:30）

3. 登壇者

林 昭次 博士

大阪市立自然史博物館 古脊椎動物担当学芸員。専門は古脊椎動物学。

2009年6月 北海道大学大学院理学院自然史科学専攻博士課程修了 博士(理学)

骨の内部組織から、恐竜類を中心とした絶滅動物の進化と生態を研究。また、デスモスチルスの骨の断面を分析して、デスモスチルスが泳いでいた可能性について研究している。今回の企画展では、全体監修とデスモスチルスの研究内容をご紹介いただく。

田中 嘉寛 博士

沼田町化石館（北海道） 古脊椎動物学・博物館学担当学芸員。専門は古脊椎動物学。

兼任：北海道大学総合博物館 資料部 研究員。

セイウチやガンジスカワイルカ、ネズミイルカ、クジラなど水棲哺乳類の進化を研究。

今回の企画展では、鰭脚類とスマタネズミイルカの監修を担当。

古沢 仁 博士

札幌市博物館活動センター 学芸員。博物館学芸担当課長。専門は古脊椎動物学。

特にカイギュウ類や鯨類など、海生ほ乳類の化石からの進化や系統を研究。1997年に厚田で発見されたハクジラや2003年豊平川で発掘されたカイギュウ化石、2008年に発掘されたクジラ化石などを研究。今回の企画展では、カイギュウ類の展示監修を担当。

[ゲスト]真鍋 真 博士

国立科学博物館標本資料センター コレクションディレクター、分子生物多様性研究資料センター長。

横浜国立大学卒業後、米・イェール大学修士課程、英・ブリストル大学でPh.D.取得。恐竜など中生代の爬虫類・鳥類進化、鳥類以外の恐竜が姿を消したK/Pg境界の大量絶滅などを主な研究テーマにしている。